



編 集 SEF 事務局  
 連絡先 080-8865-0951  
 URL <http://sef-jpn.org>

**巻頭のことば (ファクトチェック)****理事 白崎善宏**

世界はインターネット、SNS 等の普及もあって「情報大混乱時代」と言えましょう。その渦中で「パンデミック」「ウクライナ進攻」等への対処方法で重要なのが、ファクトチェック(Fact Check=真偽の検証)です。世の中に影響を与える言説や情報のうち、真偽が定かでないものや正確さに疑いがあるもの、事実かどうか検証されていないものが、ファクトチェックの対象となります。ニュース記事、インターネット上の情報はもとより、政治家や有識者など社会的影響力をもった人物の言説も対象となります。ファクトチェックは、日本ではまだよく知られておらず、誤解も少なくありません。立場の異なる言説を「フェイクニュース」と決めつけることとは全く異なります。国際的な公開性・透明性ルールを踏まえて、公正なファクトチェックの手法や考え方について理解を広めていく必要があります。報道機関自身もファクトチェックを行います、独立の機関が望ましいと言われます。2014 年のマレーシア航空のウクライナ東部の撃墜は親露派武装勢力と解明したのは英国のファクトチェック機関「Belling Cat(猫の首に鈴をつける)」だと言われています。日本では日本報道検証機構、ファクトチェック・イニシアティブ(FIJ)等があります。

**2 月度理事会より (第 233 回 年 2 月 15 日)****事務局**

|                          |       |                      |       |
|--------------------------|-------|----------------------|-------|
| 1. 第 22 期(2023 年度)SEF 方針 | →継続審議 | 5. 会員情報のデータベース化      | →継続審議 |
| 2. 専門学校 TBL との業務委託契約     | →可決承認 | 6. 2023 年 1 月度月次会計報告 | →報告了承 |
| 3. TKS 社との業務委託契約         | →可決承認 | 7. インボイス制度への対応       | →継続審議 |
| 4. TK 社との業務委託の取組み        | →可決承認 | 8. 品川区集会所の利用方法       | →報告了承 |

**事業報告 (コミュニケーション研究会)****担当理事 長本啓仕**

コミュニケーション研究会(通称「コミ研」)は、年度毎にテーマを決めて討議・研究するとともにメンバー相互の知見の向上を図ってきましたが、メンバーの減少及び高齢化もあり、今年度をもって活動を休止することになりました

2004 年から活動が続けてきた「コミ研」は柏木先生(初代理事長)の「昨今のハードウェアシステムの急激な進歩により、元来コミュニケーションの基本である人と人との意思伝達の相互行為の部分が置き去り、退化しました。その結果コミュニケーションの不足・コミュニケーションの断絶によると思われる社会事象が多発しています。この置き去りにされたソフトウェア及びその周辺に多くの課題が残存し、この課題の解決無しに「より良い社会」の実現は困難です」という言葉でスタートしました。

現在、携帯電話、タブレット、パソコン等ハードウェアは進歩し、SNS、テレワーク、オンライン会議とシステムも便利になりました。一方、「雑談」、「飲み会」などの情報交換の場、「語らいの場」の大切さが見直されています。

来期以降、名称を含めて新たな「語らいの場」研究会の立ち上げを期待しています。

**SEF サロン (第 127 回案内)****担当理事 白崎善宏****《 第 127 回案内 》**

日時: 2023 年 3 月 15 日(木)、15 時~16 時 30 分 Zoom 方式

講師: 神出瑞穂氏(科学技術・生存—システム研究所所長)

題目: 「科学技術者の 20 世紀の忘れ物と 21 世紀の使命—智徳文明試論—」

概要: 18 世紀から 300 年以上継続してきた西欧型科学技術・資本主義文明は種々ほころびが出始めた。環境問題しかり、国際、国内格差問題しかり、国家財政危機しかり、宇宙にまで拡大した自由主義型資本主義と国家資本主義の対立しかりである。このまま技術革新競争を続ければ 80 億人を突破した世界の人びとの安心、安全な生存が実現できるのであろうか。20 世紀を終わるにあたって、“人類は科学技術に頼らざるを得ないが、果たして このまま進んで利益が実害を上回りえるか?”“このまま欲望のおもむくままに文明を造っていったら必ず罰が当たる!”と識者達は疑問、警告を発した。しかし技術革新の荒波の中にいる科学技術者はこの警告に正面から対応してこなかった。これが科学技術者の忘れ物である。21 世紀半ばを目指す科学技術文明は IoE あらゆる計測制御機能を充実させ、動的恒常性維持機能を発揮するフレキシブルで強靱な智徳文明ではないか。このシステム構築が科学技術者の 21 世紀の使命であると考えます。

**2 月度会員動向****事務局**

|              |                                                          |
|--------------|----------------------------------------------------------|
| 会員の入退会<br>なし | 2 月末日現在の会員数<br>正会員 : 23 名、 準会員 : 44 名<br>賛助会員 : 5 社+1 団体 |
|--------------|----------------------------------------------------------|